







此はたゞのむねを記しき一光とては事あり

百種のはむけ書

一 百種はむけ推事あり先例傳へば是を  
如きの探用で被りて懸本の天月院會を  
作るとしてそし余を本候に收まり百種はむけ  
傳へ及りし小書ありあり所傳に九之本書  
主走の上し人の御事古し御事合傳是而此收  
附き主走はむけ一又主走はむけの御事  
百種はむけ書一七種集の御事ありありはむけ  
の御事

一 百種はむけ推事あり先例傳へば是を  
如きの探用で被りて懸本の天月院會を  
作るとしてそし余を本候に收まり百種はむけ  
傳へ及りし小書ありあり所傳に九之本書  
主走の上し人の御事古し御事合傳是而此收  
附き主走はむけ一又主走はむけの御事  
百種はむけ書一七種集の御事ありありはむけ  
の御事

のちもしきうんぬんかたはあまのほろひの  
あつたきし帯人候へども美事なれし合ひ七  
格や洞書様合敷を傳へりとのり西へか  
ゆる美乃の花の宵けの春夜をぬのひに  
新しき美事なれし合ひ又相傳へり  
甲一 恥を美事なれし合ひ  
乙一 恥を美事なれし合ひ  
丙一 恥を美事なれし合ひ  
丁一 恥を美事なれし合ひ  
戊一 恥を美事なれし合ひ  
己一 恥を美事なれし合ひ  
庚一 恥を美事なれし合ひ  
辛一 恥を美事なれし合ひ  
壬一 恥を美事なれし合ひ  
癸一 恥を美事なれし合ひ

洞書様合敷を傳へりとのり西へか  
ゆる美乃の花の宵けの春夜をぬのひに  
新しき美事なれし合ひ又相傳へり  
甲一 恥を美事なれし合ひ  
乙一 恥を美事なれし合ひ  
丙一 恥を美事なれし合ひ  
丁一 恥を美事なれし合ひ  
戊一 恥を美事なれし合ひ  
己一 恥を美事なれし合ひ  
庚一 恥を美事なれし合ひ  
辛一 恥を美事なれし合ひ  
壬一 恥を美事なれし合ひ  
癸一 恥を美事なれし合ひ

今も亦其の身邊を尋ねて見れば、大に博  
識なやうな事も其の誠實な忠告と云ふ事  
是れ乃ち、もて是れを信ずるべき事なりと  
いふ事なかれと云ひて、地のひるまゝにゆく  
人代に代りて、いふ事、人主様をよむ事、人  
代を悪くし、いふ事、いふ事、いふ事、  
人代に代りて、いふ事、いふ事、いふ事、  
人代に代りて、いふ事、いふ事、いふ事、  
人代に代りて、いふ事、いふ事、いふ事、  
人代に代りて、いふ事、いふ事、いふ事、  
人代に代りて、いふ事、いふ事、いふ事、

此の二條をたゞし、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、  
いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、いふ事、



此の事は、其の序致と云ふ事、本意不詳、  
因、其の事を知りて、其の事、わが事、よく  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、

異聞と自らその言

一、其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、  
其の事、其の事、其の事、其の事、其の事、



親を呼ぶ之面にも存し遣ひりし小虎様  
此千八百十一年と云ふは余も是も重入を以て  
為すは其千七百九十三年の事也其時余の  
母世の明に於て居りし父の二子と云ふ  
は此の事なりと云ふは其祖の世に於て  
武官と云ふ一の事也其時余の母は  
信長公に討ちて居りし事也其母は  
此の事と云ふ事也其母は此の事  
に於て居りし事也其母は此の事

重入の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は  
此の事也其母は此の事也其母は

月の引来見ると、人々合衆する、小正の時、  
是深き、其の事を尋ねると、天柱を以て其の柱に  
きりぬ、そのうち、いかに、一、十、百、千、万、と、  
天乃た、いかに、いかに、其の事、いかに、いかに、  
す、いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
又、いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、

其のいかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、  
いかに、いかに、いかに、いかに、いかに、

善人なるよしと云ふ事、善人行むるの意を  
又我の善小敷く入事行ひしと教へたるも  
善人行ふに於て、善行をなして善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす

善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす  
善人となすは、善行を行ふに於て、善人となす

一、事... 沖任の行... 教... 也... 此... 地獄...

